

# 2019年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

## 活動報告

「地域共生のなかでおこなう子どもの学習支援・体験ワークショップ事業」



代表理事 大倉 一真

# 一般社団法人パーソナルサービス支援機構とは

場所：鹿児島県鹿屋市西原

建物：平屋の一戸建てで築年数は30年ほどですがいいところはいっぱい！

- ・大広間には広い縁側があり、中庭からは優しいぽかぽか陽射し
- ・目の前には公園があり、いつでものびのび元気を発散
- ・部屋がいっぱいあって、一人になりたいときも大丈夫
- ・裏には畑があり、土や野菜をさわって自然や季節を感じれる

メンバー：代表の私（就労・学習支援担当、心理カウンセラー）

理事・常勤職員（学習支援担当、PC・プログラマー・イラストデザイナー）

理事・非常勤（学習支援担当・東大出身、NPO理事・引きこもりや自殺対策等）

監事・非常勤（ピアノ講師、とっておきの音楽祭代表）

他、精神保健福祉士や精神科看護師、イラストレーター、学生のアルバイト、ボランティアさん

# 一般社団法人パーソナルサービス支援機構 組織概要

〔2017年10月設立、2018年10月法人格取得〕

## **PSスクールかのや**（2018年10月開所）

〔事業内容〕

- ・ 不登校(苦登校)支援事業…「フリースクール」「フリースペース」
- ・ 学習生活支援事業…「通信制高校等学習サポート校」
- \* 教室のスタイルとしては「イエナプラン教育」を採用

## **かのや自立就労サポートセンター**（2017年12月開所）

〔事業内容〕

- ・ 就労準備支援事業…「はたらく準備プログラム」
- ・ 日常生活自立(居場所)事業…「ゆる活ワークショップ」
- ・ 雇用機会拡充(就労体験等)事業…「しごとつなぐプロジェクト」

# 一般社団法人パーソナルサービス支援機構 組織概要

〔2017年10月設立、2018年10月法人格取得〕

## おおすみ子どもアドボカシーセンター（2019年4月開所）

〔事業内容〕

- ・ 子どもの権利擁護派遣事業…「こども なんでもそうだんしつ」
  - ・ 子どもの権利擁護促進事業…従事者研修
  - ・ 地域自殺対策強化事業(県委託事業)…フリーダイヤル・LINE相談・大隅巡回相談
- \* 親御さんからの「虐待」や子育てについての相談も受ける

## コミュニティハウスやさしい釦(ぼたん)（2019年6月開所）

〔事業内容〕

- ・ 地域共生型居場所事業
- ・ 自立支援胆育プログラム…「弓道体験」「和装・礼法」「キックボクシング」

## ～～ 本事業の目的 ～～

様々な体験活動により、不登校児童やひきこもり状態の方がものごとに  
興味や関心を持てる「きっかけ」をつくる。

これを、地域の方々や企業などと一緒におこなうことで、  
自分を受け入れてもらえるという安心感につながり、  
復学や就職など社会に踏み出しやすくなることを目的とする。

# ～～ 本事業のような取り組みが鹿児島県大隅地域で定着しない理由 ～～

## 鹿児島県大隅地域の課題

広大な地域にもかかわらず公共交通機関が乏しい



なので、

支援を受けたくても、送迎手段が必要！

勇気を出して働きに行くにも、自動車免許と車が必要！



しかし、

送迎といっても家族にそんな余裕はない（共働き、一人親、生活困窮など）、、、

長期ひきこもりの方にとって自動車免許はハードルが高いし、働けるか解らないのに車は買えない、、、

## ～～ 本事業のポイント ～～

「不登校やひきこもり＝障がい者」ではないので、制度による送迎サービス等がない

大隅地域の既存の公的な支援制度は、

「不登校支援」…適応指導教室は鹿屋市内と志布志市内にしかなく、利用するにも家族の送迎が必要

「ひきこもり支援」…地域支援センターは鹿児島市内にしかなく、フェリーか高速道路の利用が必要

生活困窮者自立支援法による対応でひきこもり支援は可能だが、本人申請と来所が原則だったり、

子どもの学習支援については就学援助金や生活保護を受けているなど所得要件があり利用しづらい



つまり、

制度の枠にとらわれない「送迎・アウトリーチ支援」が必要！



大隅地域独自の制度化を目指す！！

～～ 地域共生・共育・共働をめざした活動の事例 ～～

# 1 体験型ワークショップ

「興味・関心」の芽生えがなければ、どれだけ背中を押しても次の一步にはつながりません。この場はあくまでもその練習で、「とにかくやってみる」ということに奥手な人たちにとって、経験の積み重ねは大切。そこから、「試行錯誤のスキル」が身につき、さまざまな状況に対応できるようになります。



〔ご協力いただいた皆様〕

- ・ Grab Takemoto-octa (美容院・装飾・植物)
- ・ 木工房comimi (木工・インテリア)
- ・ COCOAN LEATHER (革製品)
- ・ アロマセラピストのお店 ポヌール (アロマ)
- ・ 高隈焼窯元 (陶芸)

他、押し花アート、生け花、着付け、モデルなどの先生方

## 2 食育セミナー

「心」が疲れたときに必要なものは「食べること」と「寝ること」。これらは「生きる」ということにもつながります。「食」に興味を持つことで、脳は体に「生きたい!」という信号を送ります。「生きづらさ」を抱えている方が、それでも前を向くために必要なことを体験的に学びます。



〔ご協力いただいた皆様〕

- ・小料理屋 菜（八寸やお造りの盛り付け、伝統料理など）
- ・そばる（蕎麦打ち）
- ・畑パン（パンづくり）
- ・中華料理 口福楼（エビ餃子などの点心、炒飯）
- ・denshiro\_cafe（ピザづくり）
- 他、管理栄養士や農家の先生方

### 3 居場所での学び

まずは、この小さなコミュニティの中で、無理せず、等身大で自分なりの生き方を見つけます。得意なことが見つかったり、興味あることが見つければ、少しずつ外でも対応できるようになり、本人に合わせてながら、地域や企業とつながりを持てるようになっていきます。



〔ご協力いただいた皆様〕

- ・お昼の団らん用に差し入れをしてくださる地域の方
- ・クリスマスやお誕生日会のプレゼントを提供して下さる方
- ・英語を教えてくれる大学生、習字教室をして下さる教員の方
- ・職業探究講座で専門的なお話をしてく下さる方
- ・イラストレーター

## 4 地域に出での学び

いきなり地域の中へ、、、というのはなかなか難しいのが現状です。太陽の光を浴びて、新鮮な空気を吸う。始めの一步はここから。そのうち自分たちから「天気がいいから外で何かしたい」、「私にも何かできるアルバイトあるかなあ」なんて話してくれて、それが地域での活動や社会見学につながっていきます。



〔ご協力いただいた皆様〕

- ・鹿屋スポトレ@LABOで室内トレーニング
- ・郷原農園での農業学習
- ・福祉まつり内のブースでボランティア活動
- ・レガーム、トモタカファーム、太郎丸がコラボして大隅の地産地消食育セミナー
- ・弓道や合気道を通じての胆育
- ・小鹿酒造や新村畜産での見学会や仕事体験

## 5 仕事体験

不登校の時期があったとしても、ひきこもりの時期があったとしても、決して自分の夢をあきらめる必要はありません。

家庭状況のために希望を持ってはいけないということもありません。大隅には全力で応援してくれる企業や事業所がたくさんあります。



〔ご協力いただいた皆様〕

- ・COCO保育園（保育補助）・溝口水産太郎丸（漁業）
- ・Grab Takemoto-octa（結婚式場装飾）・町永造園（庭手入れ）
- ・オートショップ野元（バイク整備）・新村畜産（牛の世話）
- ・マリアージュショコラ（スイーツづくり）・オキス（野菜加工）
- ・以和貴会（老人ホーム）・井之上電器（家電）・らーめんなかむら
- ・料亭 義経（ブライダルコーデ）・プラスディー設計室（建築）

## 6 他団体との協同活動

地域の中には様々な素晴らしい資源が隠れています。一方で、担い手不足など地域ならではの困りごとやニーズがあります。

「支える」「支えられる」という一方向の関係性ではなく、人と人、人と地域のつながりの中で、お互いに支え合い、成長することを目的とします。

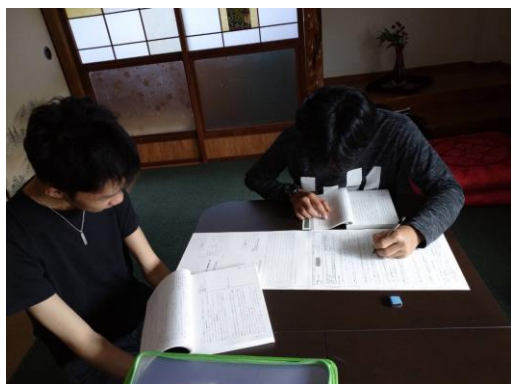


〔ご協力いただいた皆様〕

- ・大型連休 臨時託児所 & 居場所開設  
(あそびば☆すりがはま共催・指宿市)
- ・寄り添い支援地域ボランティア育成セミナー  
(コミュニティハウスやさしい釘・串良町岡崎)
- ・子ども商店でのイベント参加 (おおすみハナマルシェ)
- ・とっておきの音楽祭での広報ボランティア

## まとめ

これらの支援すべては「送迎」が可能となったからこそです。つまり、この取り組みがなければ、多くの子どもや若者たちは孤立したままになっていたということです。大隅地域の宝、将来の貴重な人財を、地域ぐるみで、「我が事・丸ごと」で支えていく仕組みを、皆さん一緒に創りませんか？



(利用実績)

- ・送迎 実88人、のべ1,129人
- ・出前授業など訪問のみ 実66人

追伸、最近、キックボクシングも始めました（薩摩ジム）

私たちが理念としていること、

まず大切なのは「**その人の人生を尊重すること**」

人生は多様である。 ➡ 「社会とのつながり」も多様でなくてはならない。

つまり、専門職による支援のみを「社会とつながるきっかけ」にするのは望ましくない。

「社会につながるきっかけ」はどこにあるのか？

人・モノ・場所、それは公共も民間も含めて、すべて地域の中にある（はずである、、、）。



私たちの役割は、その「きっかけ」をつくることにある。

「社会につながるきっかけ」づくりによって期待できること

- \* 地域住民や企業の理解が深まり、様々な体験の場や雇用の機会が生まれる。
- \* 専門職が地域住民や企業と関わることで「学び合う機会」が生まれ、地域の課題を自分事として捉えるようになり、地域の中で新たなつながりを生む。（子ども食堂やコミュニティカフェなど）
- \* 多様な参加の機会が生まれることで、個々を尊重し合うことに継続制が生まれ、こうしたつながりは制度を通じた包摂と相まって、地域におけるセーフティネットの基礎となる。
- \* 「制度」と「専門職による伴走型支援」と「住民同士のケア・支え合う関係」が重なり合うことで、社会での多様なつながりが生まれやすくなる。